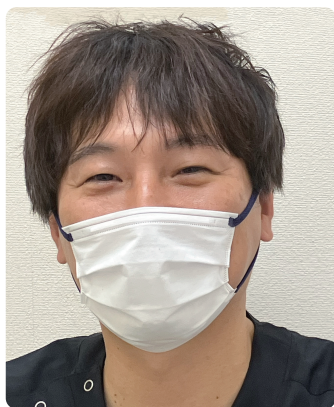


HEART CHECK 

ハートチェック[®] サービス

猫の健康検査、術前術後のフォローに活用しています。

ハートチェックをどのように日常の診察にご活用いただいているのかについて、インタビューを実施しました。導入のきっかけや診療への活用法など様々なお声をいただきましたので、ぜひ導入検討のご参考にご一読ください。



2024年4月から導入 **清泉どうぶつ病院 様**

〒424-0038 静岡県静岡市清水区西久保447

院長 野口 英亮先生

ご経歴

2004年 日本大学獣医学科 卒業
犬山動物病院、たけくま動物病院、えじま動物病院で勤務
2011年4月 清泉どうぶつ病院 開院



Q1 ハートチェック導入のきっかけは？

実妹が猫(ベンガル)を飼っていたのですが、7か月くらいで去勢手術を受けて、その約1週間後に心臓が悪くなって亡くなってしまったことがありました。今まで去勢手術でそのような経験がなかったので、珍しいことと考えていましたが、ある先生にそのことをお話しすると純血種は稀にそのようなことがあるので気を付けないといけない、と教えていただきました。しかし、全頭にエコーを行うとなるとハードルが高いので悩んでいたところ、タイミングよくハートチェックをご紹介いただいたのでリスクの回避につながることを期待して採用しました。

Q2 ハートチェックをどのように日常の診察に活用していますか？

ワンニャンドックの中に組み込んで健康検査の一環として、また、術前術後のフォローとして活用しています。健康検査で何度測定しても陽性になってしまう子には、エコーやBNP検査など次の検査に移行するようにしています。

Q3 ハートチェックを飼い主様にどのように勧めていますか？

健康検査の一環として、また避妊・去勢手術を行う際の必須項目としており、オプション検査ではないので事前には説明していません。結果を報告する際にハートチェックの意義をお伝えしています。

Q4 ハートチェック測定時に、特に気をつけていることはありますか？

なるべく早く終わらせる、がっちり押さえつけないなど犬・猫の気分を損ねないように注意しています。また、どうしても触らせてくれない子は術後の鎮静時に行っています。

Q5 測定に関する院内オペレーションで工夫していることはありますか？

特にはないです。測定は私自身や私の指導下で愛玩動物看護師が実施しています。

Q6 ハートチェックを受けられた飼い主様の反応はいかがですか？

猫の場合はR波増高があるかないかの判定なので、陽性に出た場合は飼い主様が過度に心配されることがありますが、その場合は心疾患の可能性があることをお伝えしてリラックスした状態で再度測定することにしていきます。

Q7 ハートチェックのAI解析結果がもとで、心疾患の発見につながった例はありますか？

はい、あります。何度測定しても陽性に出るので精密検査へ移行したところ、心筋症が発見された例がありました。最初は飼い主様もかなりショックを受けておられたのですが、早期発見につながったので、今では感謝されています。

Q8 ハートチェック最大の魅力は？

簡易的で約30秒で測定できる点ですね。結果として検査のハードルが下がるので助かっています。

Q9 今後、ハートチェックに期待することはありますか？

犬のように猫でも他のパラメータを評価できるとありがたいです。また、心筋症についてもあるかないかではなく、3～4段階での評価などがあればありがたいです。